

第3回京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」次第

日時：平成25年11月6日(水)

午後2時～午後4時

会場：京都市美術館2階応接室

1 開 会

2 挨拶 潮江 宏三 副委員長

3 議 事

(1) これまでの議題の整理・確認

(2) 今後必要となるハード整備について

(3) その他の課題について

<配布資料>

資料1 第1回、第2回検討委員会の整理・確認「目指すべき方向性」

資料2 第1回、第2回検討委員会の整理・確認「展覧会の在り方」

資料3 前回の整理・確認「コレクションの在り方」

資料4 前回の整理・確認「普及教育・研究活動と運営体制」

資料5 今後必要となるハード整備について

資料6 議会からの意見やこれまで取り上げられなかった課題

(参 考)

- ・京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」委員名簿
- ・委員座席表
- ・京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」設置要綱

目指すべき方向性について

第1回, 第2回検討委員会の
整理・確認

目指すべき方向性(まとめ)

- ① 京都の今に立ち会い，歴史を紡いでいく美術館
- ② 幅広い世代が集う美術館
- ③ ゆったり滞在し，ゆっくり楽しめる美術館
- ④ 文化ゾーンとしての岡崎地域の集客とクオリティを高める美術館

展覧会の在り方について

第1回, 第2回検討委員会の
整理・確認

展覧会の在り方(まとめ)

- ① 京都(京都画壇・工芸)を主軸とした常設展示の実現に取り組むべきである。
- ② 京都市美術館の特色であるコレクションをもっと活用する(巡回展の開催など)。
- ③ 企画力を駆使した主催展(自主企画展)を開催,強化すべきである。
- ④ 京都の「今」に立ち会い,現代美術(コンテンポラリー)を収蔵・展示・発信すべきである。
- ⑤ 魅力ある大規模な海外展・全国巡回展等を誘致する。
- ⑥ 別館に特色・専門性を持たせる。



①～⑥のバランスに留意し,何かに特化するのではなく,京都の文化芸術の中核を担う複合型美術館を目指す。

前回の整理・確認

1 コレクションの在り方について

<従来のコレクションポリシー>

- 京都に関係のある作家の作品が中心
- 未購入の近代及び現代の作家の作品を補充
- 作家の代表作品であり、かつ、その作家の個性が明瞭なものを優先
- すでに所蔵品のある作家の作品であっても、その個性の変遷を知るうえで重要な作品を購入
- 完成作品でなくても(例えば「画稿」「下絵」など)、美術館として必要な作品を購入
- 寄贈作品の受け入れについても、上記の方針に準じる

<前回までの意見>

- コレクションを活用した常設展で集客できるようにすべき
- 京都を主軸とした日本の近代美術がいつでも見られる常設展を
- 人々が常に交流し賑わい集まる空間に京都の誇る美術作品が並ぶように
- 美術館の顔になるような作品が常に展示されている常設展を望む
- 企画展をやり、それに付随してコレクション形成につなげるべき
- いい展覧会をやることが、よいコレクション形成につながる
- 作品を持っている人とのネットワークの形成が必要
- コンテンポラリーがないと歴史が繋がらない
- 京近美との棲み分けをして、はっきり特徴を打ち出すべき



コレクションの在り方①

過去から未来へと歴史を紡いでいくコレクション形成

< 前回までの意見 >

- 現代美術の企画展をやり、コレクションを形成していけば、館の特色が出て発信力が増す
- 現代美術の購入は意外に少ない予算で可能
- 過去と現在はあっても未来を感じさせるものがない。現代美術展示への要望はあるはず
- 京都には、現代美術のコレクション形成の土壌がある
- コンテンポラリーがないと歴史が繋がらない
- 現代美術作品は収蔵が難しく、民間ギャラリーで支えきれない部分を美術館が担ってほしい
- 京近美との棲み分けをして、はっきり特徴を打ち出すべき



コレクションの在り方②

現代美術(コンテンポラリー)の自主企画展示、
収蔵、コレクション形成をめざす

<前回での意見>

- 購入予算がもっと必要, 美術館の存在価値を訴えるべき
- 展覧会が黒字になったら, 購入費として使えるようにすべき
- 民間で基金を積んで作品を購入し, 美術館に寄付してもらうよう働きかける
- 企業から継続してスポンサーになってもらうための仕組みが必要
- コレクション形成のための資金調達の専門スタッフが必要
- ショップ, レストラン, カフェなども含めたマネジメントが必要
- 民間資金調達の手法の検討, 専門スタッフの必要性を重視すべき
- 永久的な建物に企業名は避けるべき



コレクションの在り方③

資金調達の様々な方法を追求し, コレクション
形成をすすめる

コレクションの在り方(まとめ)

従来のコレクションポリシーを基に、

- ① 過去から未来へと歴史を紡いでいくコレクション形成
- ② 現代美術(コンテンポラリー)の自主企画展示, 収蔵, コレクション形成をめざす
- ③ 資金調達の様々な方法を追求し, コレクション形成をすすめる

前回の整理・確認

2 普及教育・研究活動 と運営体制について

<前回での意見>

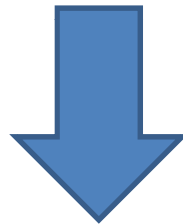
- 美術教育につながる普及教育ができていない
- 教育プログラムは現在では当然行うべき活動, ある美術館では, 小学生を対象, 中学生を対象と, 細かくプログラムを組んでいる
- 展覧会を開催するだけでなく, 普及教育, 広報をやっていくにはさらに多くのスタッフが必要



① 美術教育につながる普及教育を行う

<前回での意見>

- 大都市の美術館にふさわしい人数が必要
- 展覧会を開催するだけでなく、普及教育、広報をやっていくにはさらに多くのスタッフが必要
- 広報、教育プログラム、協賛獲得(ファンドレイジング)のスタッフは必須
- 広報はあらゆるメディア、手法に対応できる若いスタッフが必要
- フリーのキュレーター等から企画を取り込むようなフレキシブルな体制



② 広報、普及教育、資金調達をはじめとする学芸等のスタッフの充実

<前回での意見>

- 大学でアートマネジメントを学ぶなどした人たちをインターンとして受け入れ養成すべき
- インターンや学生ボランティアが普及活動に従事すれば、学芸員が研究・企画の仕事に専心できる
- インターン実習をマネジメントして協同して仕事をする専門スタッフが必要
- 学芸員になりたい人がたくさんいる今の機会を逃すとよい人材はなかなか得られない
- スタッフの人員を増やしてから、インターンの導入をすべき



③ インターン等, 受け入れ制度の検討

普及教育・研究活動と運営体制(まとめ)

- ① 美術教育につながる普及教育を行う
- ② 広報, 普及教育, 資金調達をはじめとする学芸等のスタッフの充実
- ③ インターン等, 受け入れ制度の検討
- ④ 運営形態(直営, 指定管理等)の検討
 - ➡京都市美術館にふさわしい運営形態は？

(参考)美術館の運営形態

運営形態	特徴	採用している美術館
独立行政法人	現状では主に国立美術館に見られる運営形態。担当省庁の監査を受ける。	京都国立近代美術館 国立国際美術館
直営	地方公共団体による運営であり、スタッフは当該団体職員である。美術館としては安定した母体で運営できる。反面、母体の財政事情等に影響される。	京都市美術館 兵庫県立美術館
直営 (一部指定管理)	直営と指定管理の長所をとり、学芸部を直営に、総務部ないしはその一部業務を指定管理にしている場合が多い。	島根県立美術館
指定管理	地方公共団体との契約により、指定管理者が美術館の運営を行う。地方公共団体にとっては、経費の節約が実現できるなどのメリットがある。一方、契約外の業務に対応できない、長期計画に対応できないなどが問題とされる。	東京都美術館 金沢21世紀美術館

資料 5

今後必要となる
ハード整備について

1. 京都市美術館の沿革



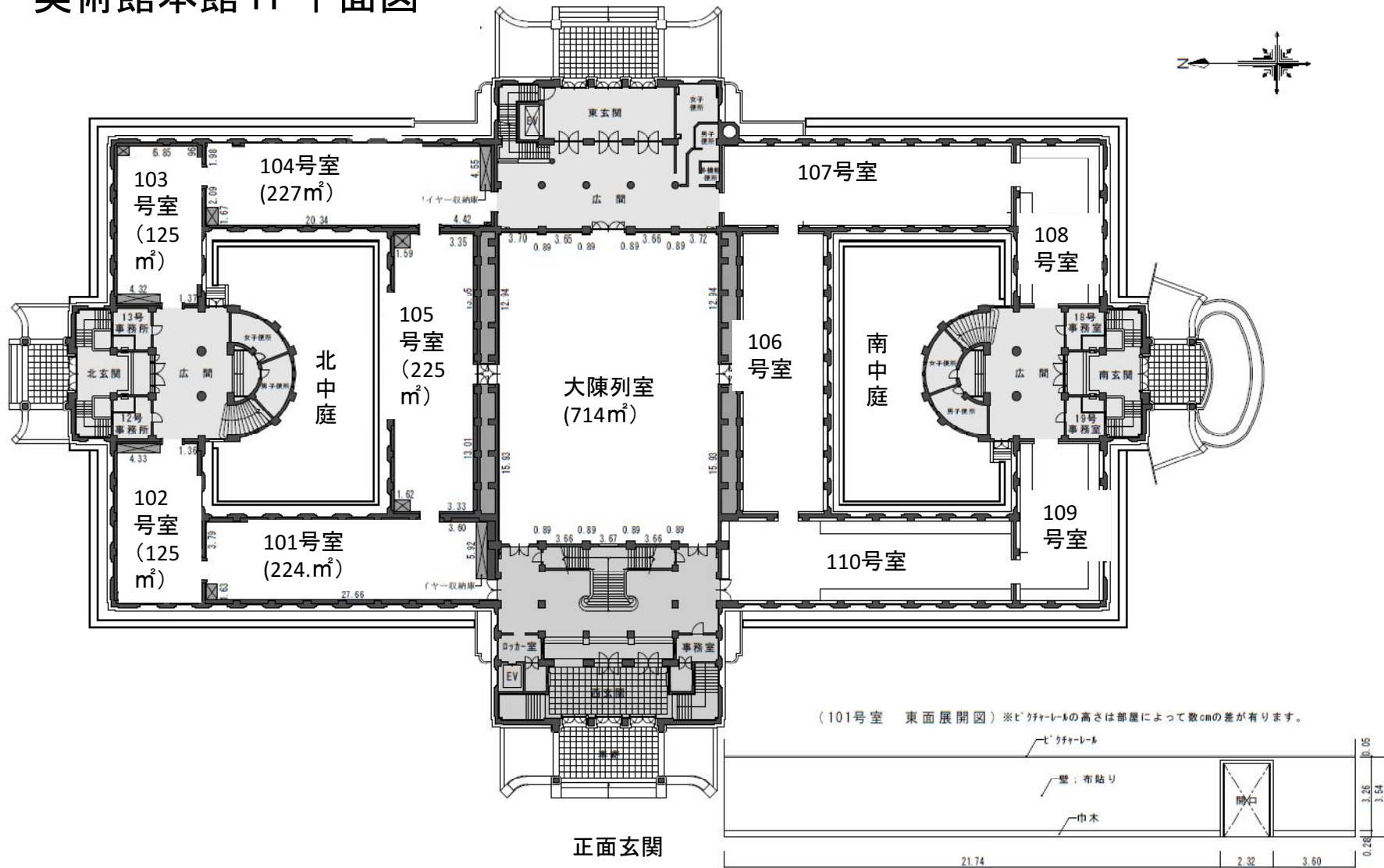
京都市美術館は、1928(昭和3)年に京都で天皇即位の大典が挙行された折、その記念事業として、「大礼記念京都美術館」の名称で、1933(昭和8)年11月13日に開館した。設計競技の公募により、一等入賞した前田健二郎の設計図案を基に建設された。東京都美術館に次ぐ日本で二番目の大規模公立美術館であり、関西財界はもとより、多数の市民からの寄付の協力を得て建設された。

	本館	別館
敷地面積	24,331m ²	3,132m ²
構造	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート一部鉄骨
建築面積	4,657m ²	892m ²
延床面積	9,349m ²	1,967m ²
陳列面積	5,039m ²	916m ²
展示室数	24室	2室
総壁面長	1,832m	372m

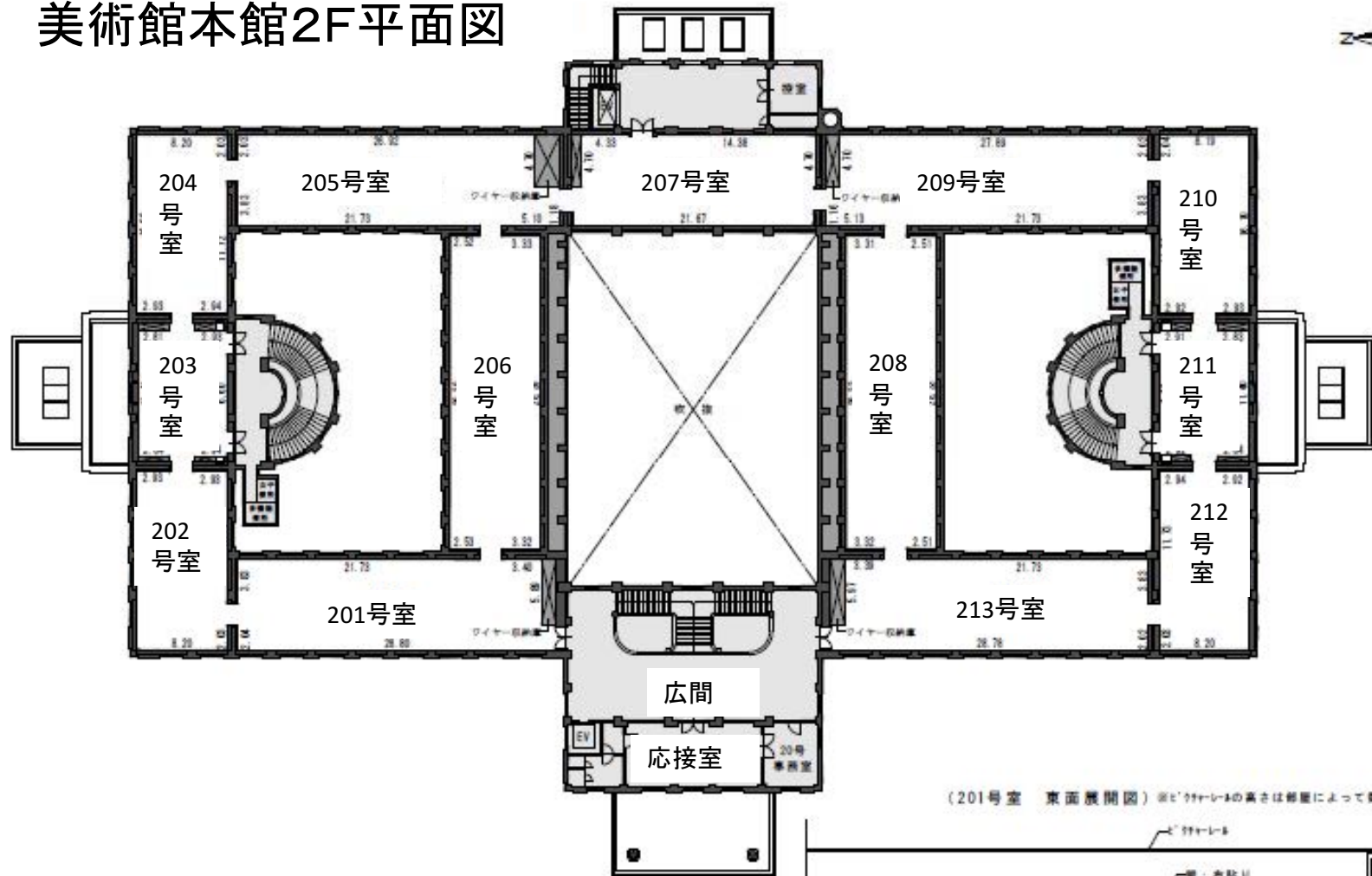
別館は、昭和5年に京都市公会堂東館として建てられ、昭和39年より京都会館別館として用いられていた近代和風の建物。外観は保全、内部を全面改修し、平成12年に美術館別館として新設された。



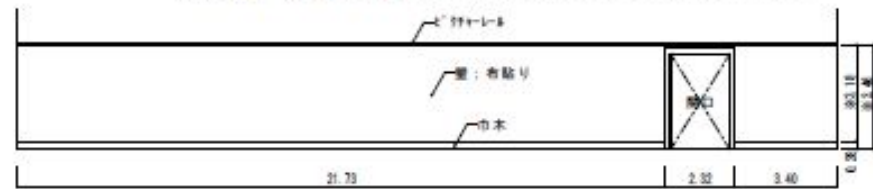
美術館本館1F平面図



美術館本館2F平面図



(201号室 東面展開図) ※e'の寸法は部屋によって数cmの差があります。



美術館別館概略図



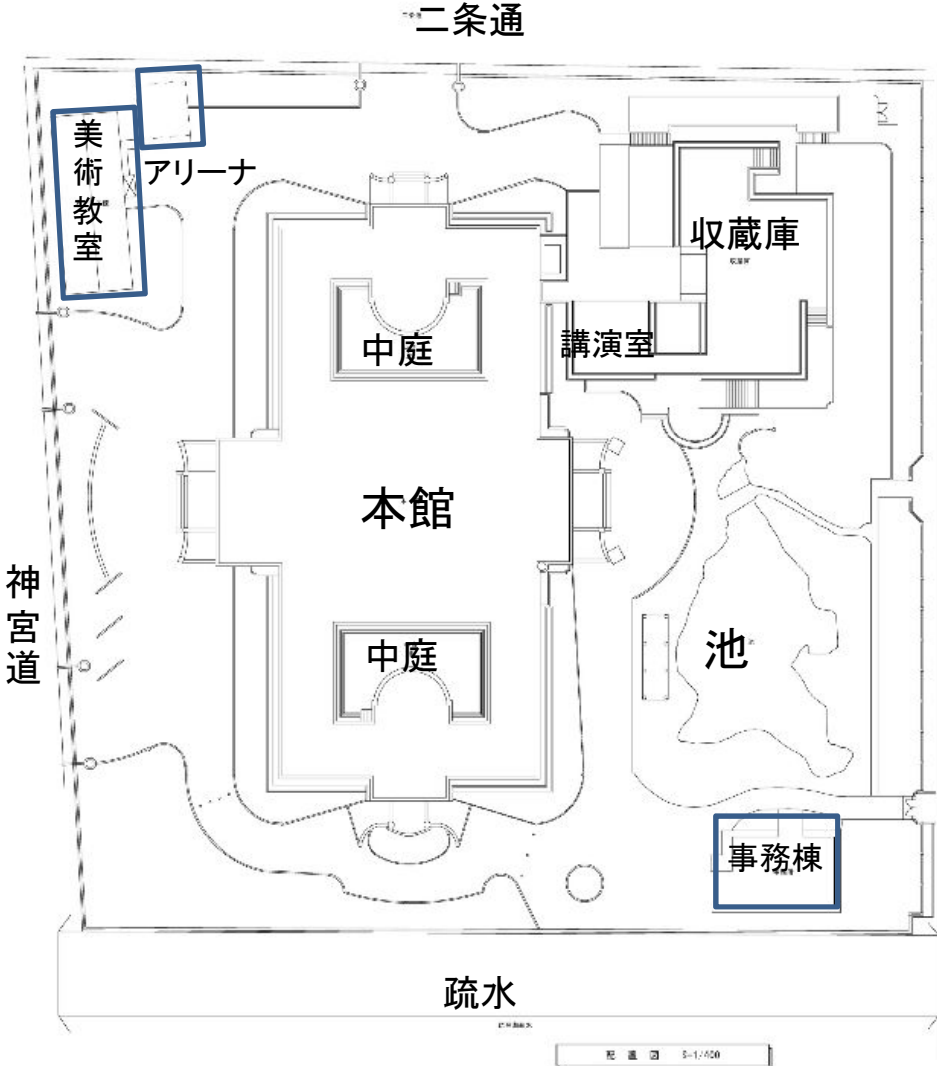
別館 1F

1. ロビー
2. 第1展示室
3. ロビー
4. 第2展示室



別館 2F

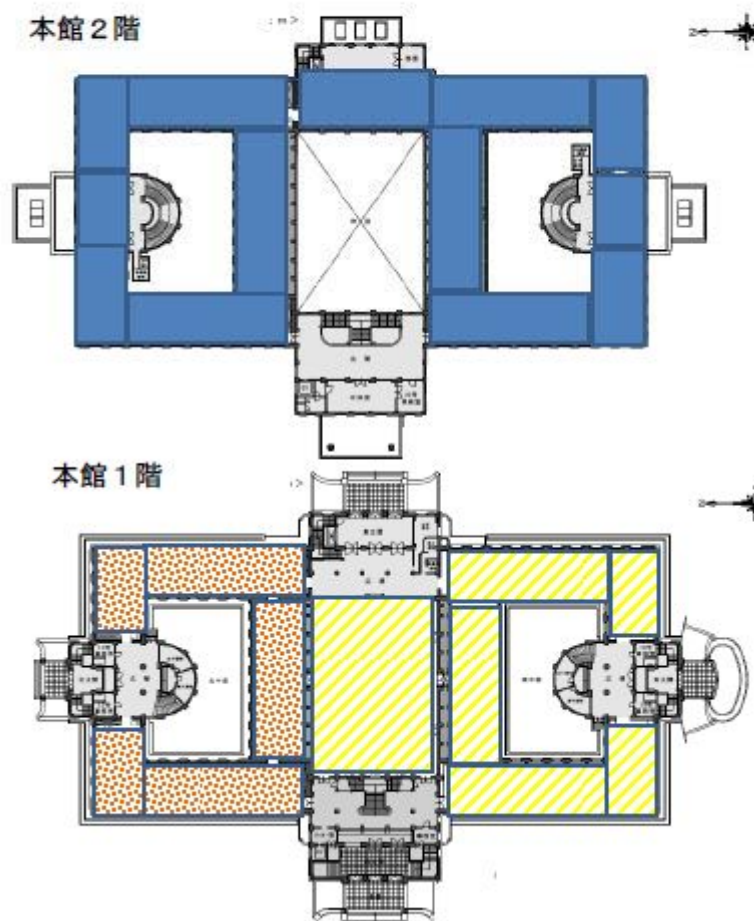
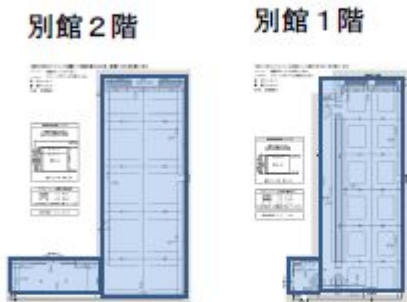
2. 美術館敷地全体の状況



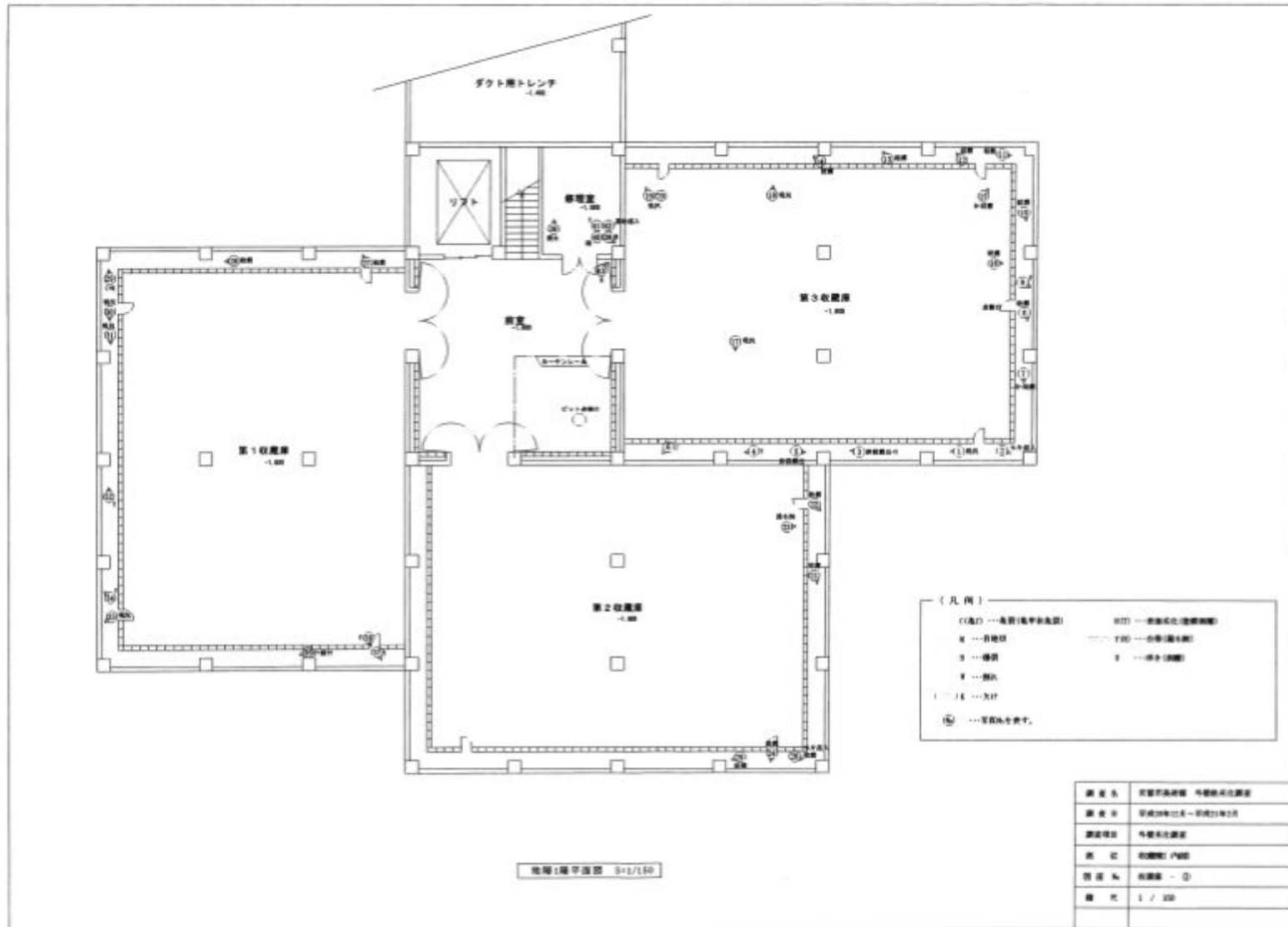
3. 展示空間

現在の利用状況(H25.11.6)

- 企画展(下絵を読み解く～竹内栖鳳の下絵と素描)
- 共催展(竹内栖鳳展)
- 貸館①②(第40回創画展)
- 貸館③④(第68回新匠工芸会展)



4. 収蔵庫の概要



(参考)他館の常設展示スペースと収蔵スペース

	延床面積(m ²)	展示室(m ²):延床面積に占める割合(%)		うち、常設展示室又はコレクション展示室(m ²):展示室全体に占める割合(%)		収蔵室(m ²):延床面積に占める割合(%)	
京都市美術館	11,316	5,965	52.7%	—	—	956	8.4%
東京国立近代美術館 (本館)	17,193	4,763	27.7%	2,897	60.8%	1,338	7.6%
(工芸館)	1,858	658	35.4%			206	11.1%
京都国立近代美術館	9,762	2,605	26.7%	1,128	43.3%	1,177	12.1%
国立西洋美術館	17,369	4,420	25.4%	3,058	69.2%	1,097	6.3%
国立国際美術館	13,487	4,064	30.1%	2,032	50.0%	1,795	13.3%
国立新美術館	48,900	14,000	28.6%	—	—	601	1.2%
東京都美術館	37,749	12,441	33.0%	—	—	567	1.5%
福岡市美術館	14,526	4,184	28.8%	2,004	47.9%	1,382	9.5%
横浜美術館	26,829	4,173	15.6%	1,237	29.6%	1,243	4.6%
北九州市立美術館	12,300	3,727	30.3%	1,458	39.1%	1,087	8.8%
金沢21世紀美術館	17,093	3,891	22.8%	945	24.3%	1,496	8.8%
青森県立美術館	21,222	5,054	23.8%	2,999	59.3%	1,138	5.4%
豊田市美術館	11,121	3,245	29.2%	2,095	64.6%	1,011	9.1%
名古屋市美術館	7,232	2,304	31.9%	1,045	45.4%	626	8.7%
兵庫県立美術館	27,461	4,783	17.4%	2,330	48.7%	1,640	6.0%
東京都現代美術館	33,515	7,400	22.1%	3,100	41.9%	1,290	3.8%

展覧会数, 貸館利用率

貸館の年間展覧会数, 利用率

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
展覧会総数	146件	147件	134件
本館	83件	83件	81件
別館	63件	64件	53件
貸館利用率	95.0%	95.7%	84.5%

貸館は, 美術団体の公募展・会員展, 芸術系大学等が主催する展覧会などに使用している。

5. 必要なハード整備について

- ① 既存建物について、建物や設備の老朽化が著しい
- ② 主催展，海外展，巡回展，貸館等で年間を通して展示スペースを使用しており，既存施設で常設展等の新たなスペースを生み出すことは困難
- ③ 約3,000点の作品で収蔵庫はほぼ満杯状態
- ④ ミュージアムショップやカフェやレストランなど，憩いの場となるアメニティ空間がない

岡崎地区の規制

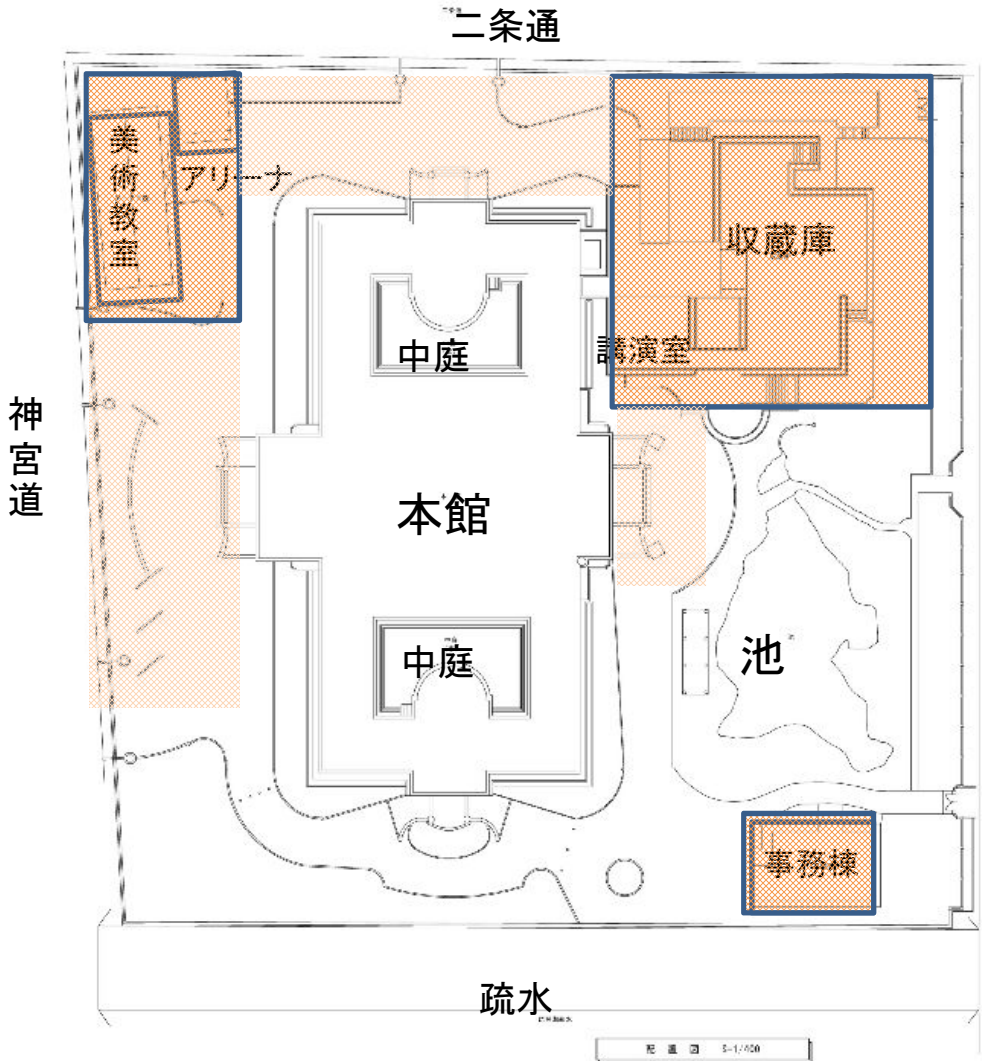
岡崎地区には、以下のような都市計画上の法規制がある。

都市計画上の法規制

- ・岡崎公園(都市公園法に基づく都市公園)
→京都市は「京都市都市公園条例」で独自基準。
- ・第二種住居地域(都市計画法に基づく用途地域) →建蔽率60%, 容積率200%
- ・岡崎文化芸術・交流拠点地区(建築基準法に基づく特別用途地区)
→E地区の主要施設は美術館。E地区の主要施設部分の高さは25m以下(現在22m), それ以外は15m以下。
- ・第5種風致地区(京都市風致地区条例に基づく種別) →原則は高さ15m以下。
- ・岡崎公園地区特別修景地域(京都市風致地区条例に基づく地域)
→建蔽率40%以下。街区緑地率35%。

なお、事業計画実施に先立って、埋蔵文化財の調査が必要である。

美術館敷地全体の活用



埋蔵文化財調査で
問題がないことが
前提となるが、



現状の建築物の
更新，大幅な修
復が可能。地下
スペースも利用
可能。



地下スペースの
利用可能。

どのようなハード整備が必要か

- 常設展示
- 現代美術(コンテンポラリー)作品の企画展示
- 収蔵スペース
- アメニティ施設(ミュージアム・ショップ, カフェ, レストラン)
- ライブラリー, 情報コーナー, 休憩コーナー, 展示室外のトイレなど

(参考)アメニティ施設について

	ミュージアムショップ	カフェ	レストラン	その他の施設
京都市美術館	×	×	×	×
東京国立近代美術館	○	×	○	アートライブラリー
京都国立近代美術館	○	○	×	×
国立西洋美術館	○	×	○	×
国立国際美術館	○	×	○	キッズルーム, 情報コーナー
国立新美術館	○	○	○	託児サービス, アートライブラリー
東京都美術館	○	○	○	美術情報室, アートラウンジ
福岡市美術館	○	○	×	キッズコーナー, 読書室
横浜美術館	○	○	○	授乳室
北九州市立美術館	○	○	×	×
金沢21世紀美術館	○	×	○	託児室, 授乳室
豊田市美術館	○	×	○	茶室, 図書閲覧室, AVブース
京都国立博物館	○	○	×	×
京都文化博物館	○	○	○	×
大阪市立美術館	○	×	○	画材店, 文化財修理店
兵庫県立美術館	○	○	○	×
神戸市立博物館	○	○	×	学習室, 図書室

(参考)他館の展示室, アメニティ施設など

東京国立近代美術館本館

展示室 (3F)



ミュージアム・ショップ



休憩スペース (4F)
「眺めの良い部屋」



レストラン「ラー・エ・ミクニ」

三國清三シェフのレストラン。「東京の地産地消をアートする」というコンセプトのフランス料理。
店内28席, テラス20席。



東京都現代美術館

展示室



ミュージアムショップ
「ナディッフ コンテンポラリー」

カフェ・ハイ (2F)



美術図書室



美術図書室は、東京都美術館資料室(1976-1995)の資料を引き継ぎ、継続して収集・保存し、主として、近現代の美術に関する図書資料を所蔵している。

コント レストラン(B1F)



懐かしくも新しい『現代洋食』を提供。ベーカリー、ストア、エディブルガーデン併設。パーティースペース、イベント、ウエディングパーティーに利用できる。営業時間11:00～21:00

国立国際美術館

展示室(B2F コレクション展)



展示室(B3F 特別展・企画展)

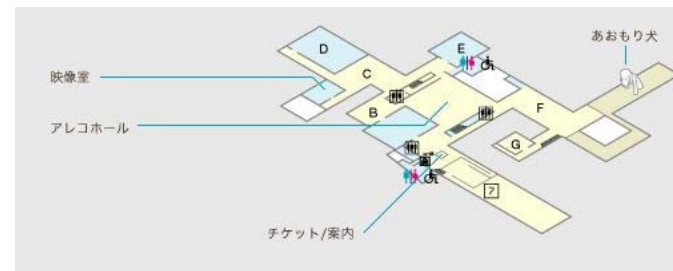
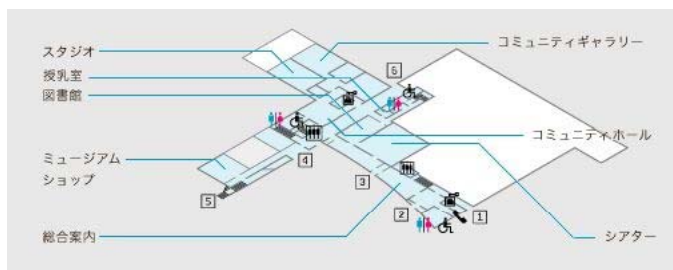
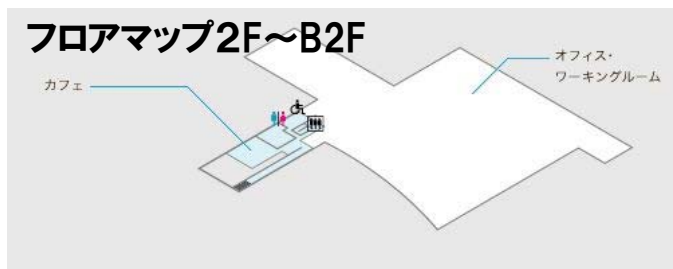


カフェ& レストラン
中之島ミューズ(B1F)



コーヒー・ケーキなどのカフェメニューをはじめ、ハンバーグ・オムライス・パスタなどのお食事メニューも豊富に取り揃えている。B1Fの無料スペースにあり、館外にレストランへの直通入口もある。

青森県立美術館



カフェ



B2Fに4層吹き抜けのアレコホール（縦21m、横21m、高さ19.5m）と5つの企画展示室、奈良美智「あおもり犬」、B1Fに棟方志功展示室をはじめ種々の大きさの常設展示室が配置されている。

棟方志功展示室(B1F)



アレコホール(B2F)



あおもり犬(B2F:据付け)



神奈川県立近代美術館 葉山

フロアマップ(1F)



展示室



ミュージアムショップ

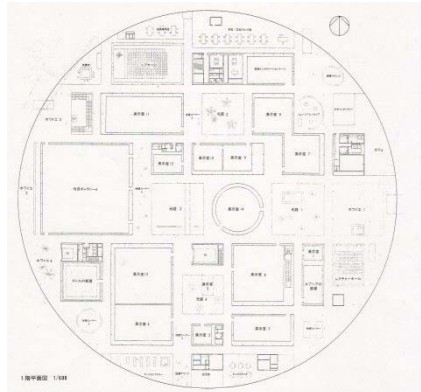


レストラン



金沢21世紀美術館

配置図



展示室



据付け作品「スイミングプール」



カフェレストラン Fusion21



「美術館で第2の感動」をコンセプトに加賀野菜を取り入れたモダンフレンチメニュー。10:00~20:00

ミュージアムショップ



名古屋市美術館

展示室



図書室



ミュージアムショップ



所蔵作品モジリアニ「おさげ髪の少女」のグッズ



兵庫県立美術館

展示室



ミュージアムショップ



レストラン ラピエールミュゼ(351㎡)



カフェ フォルテシモ(93㎡)



美術情報センター

美術を中心とした芸術関係の図書や展覧会図録、雑誌、他の美術館や大学等の年報、研究紀要などの資料を所蔵。



中庭の利用例

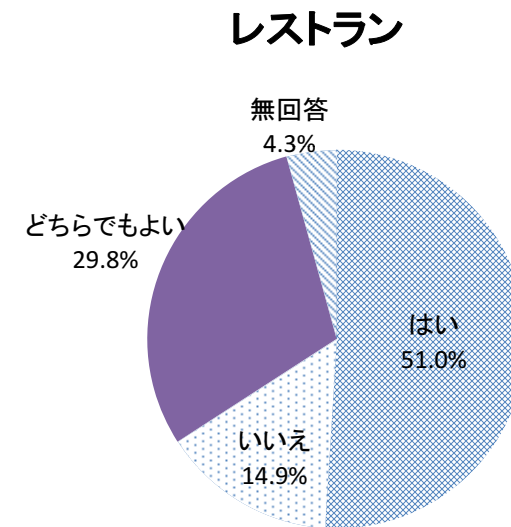
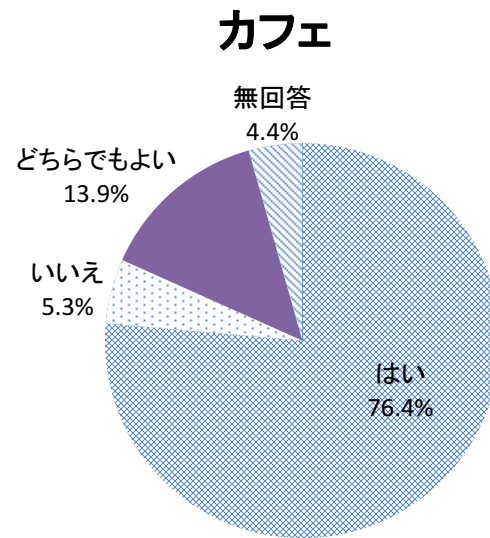
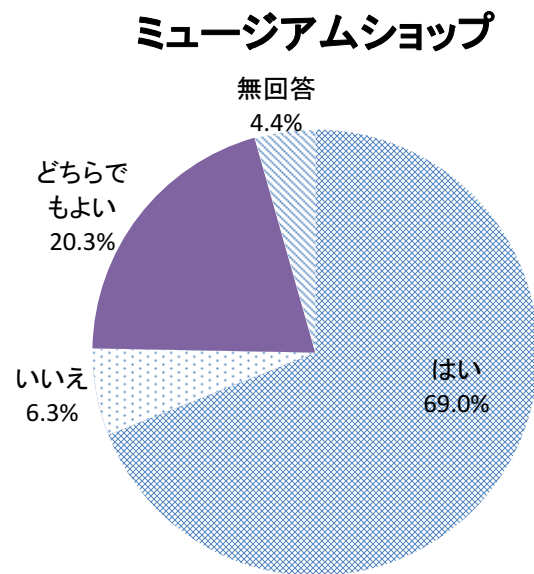
ルーアン美術館の「彫刻の庭」



本館中庭の現状

来館者アンケート結果(1)

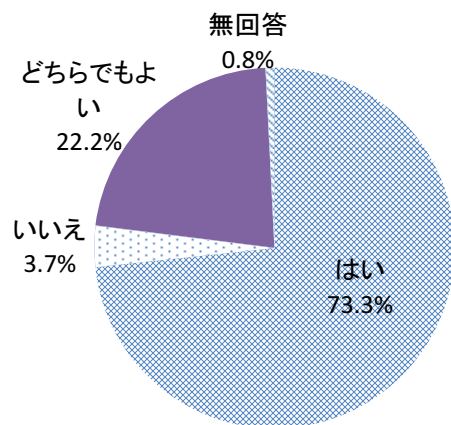
京都市美術館来館者調査によると、以下のアメニティ施設について、「あるとよいか」尋ねたところ、「はい」と答えた人は、「ミュージアムショップ」69.0%、「カフェ」76.4%、「レストラン」51.0%であった。(N=1,776)



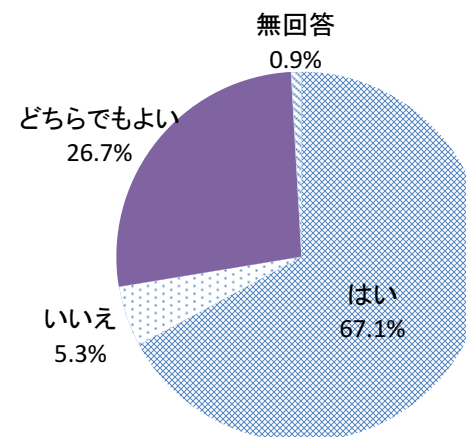
来館者アンケート結果(2)

京都市美術館来館者調査によると、以下の施設について、「あるとよいか」尋ねたところ、「はい」と答えた人は、「トイレ(展覧会を見る前に利用できる)」73.3%、「休憩コーナー」84.4%、「コインロッカー専用スペース」67.1%であった。(N=1,776)

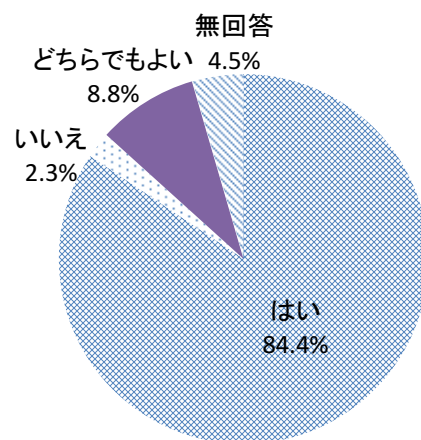
トイレ(展覧会を見る前に使える)



コインロッカー専用の常設スペース

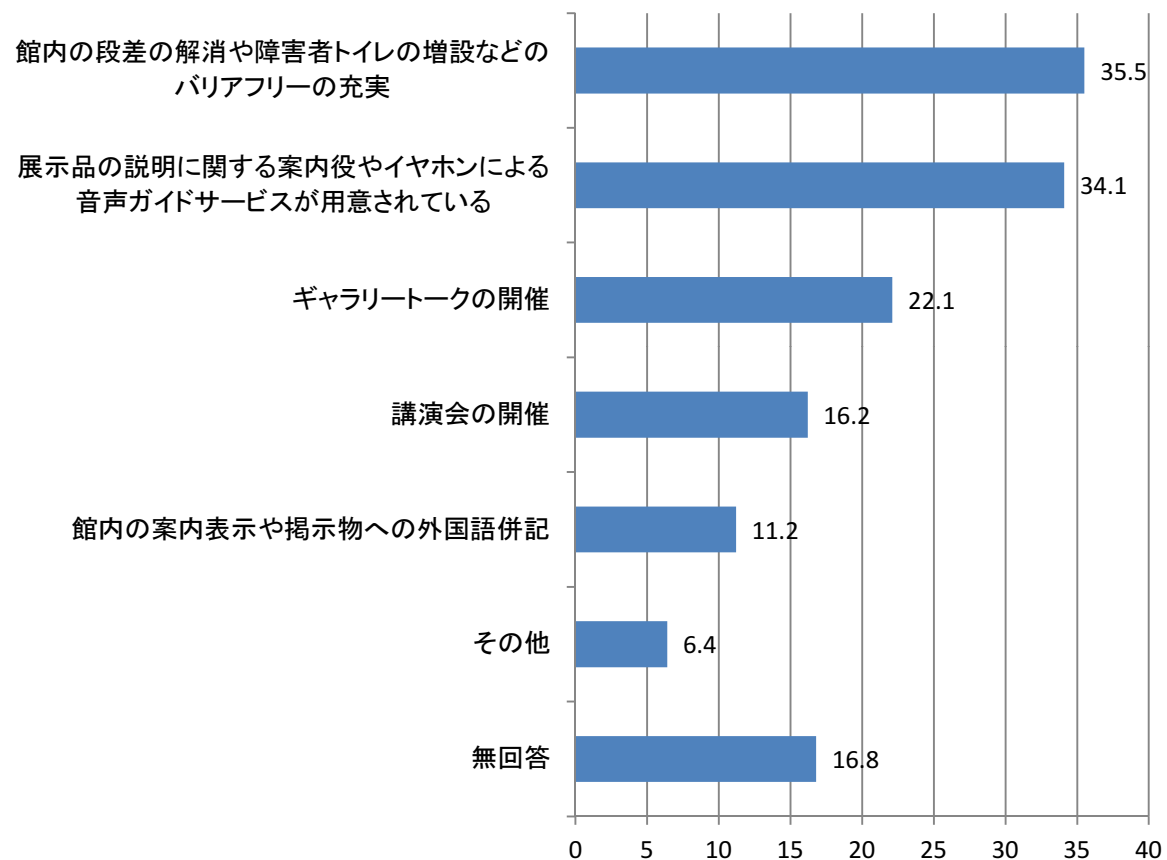


休憩コーナー



来館者アンケート結果(3)

美術館に必要な付帯設備・サービス(複数回答, 単位:%)



資料 6

**議会からの意見やこれまで
取り上げられなかった課題**

＜議会からの意見＞

- 岡崎活性化ビジョンとの連携
- 京都市美術館の設立経過を踏まえた在り方(皇室ゆかりの展示など)
- 常設展の実施
- アメニティ施設の整備
- 建物の増築, 収蔵スペースの不足
- 職員体制の不足
- 夜間開館
- 海外の方からの意見収集・多言語対応
- 美術系の学生への支援
- 公立美術館としての役割

＜その他＞

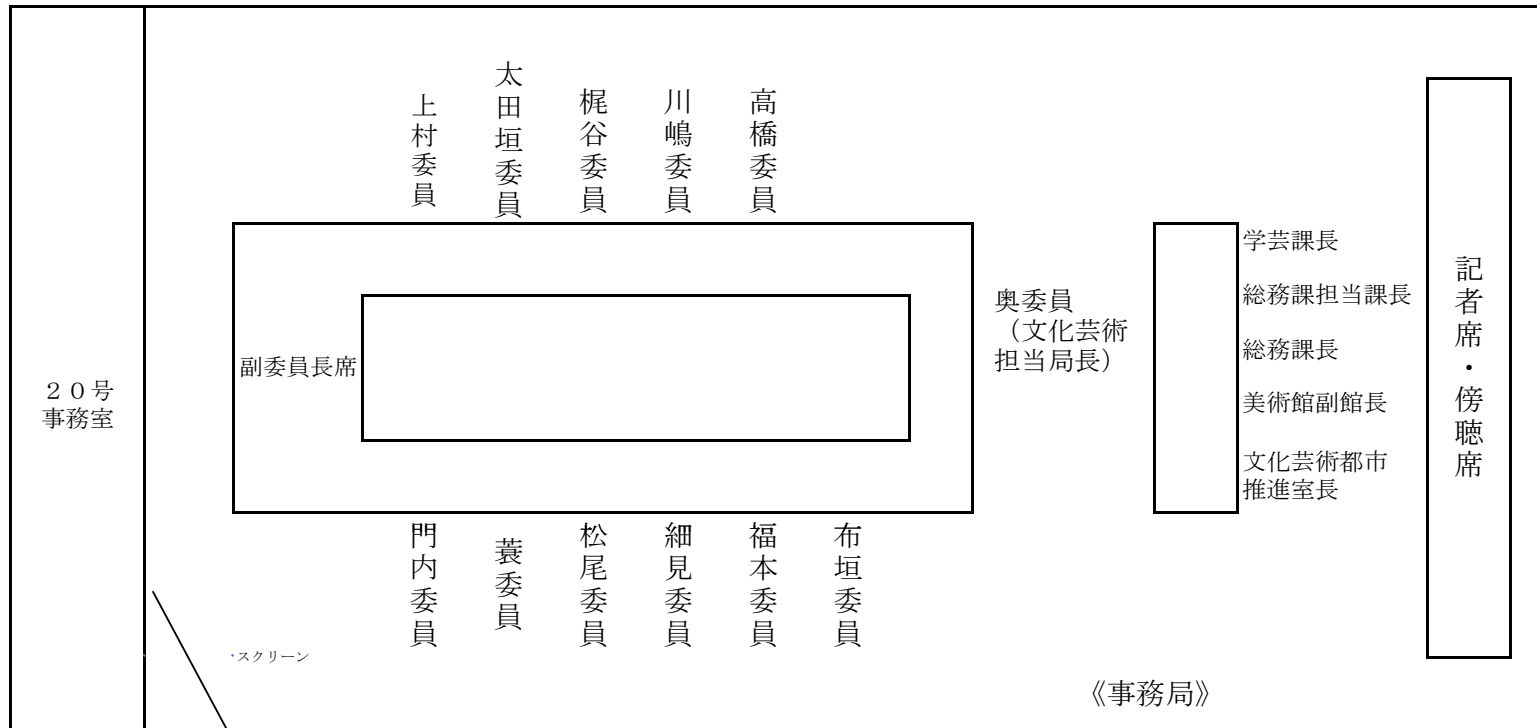
- オリジナル・ミュージアムグッズの開発
- 美術館施設のその他事業への利用(ミュージアム・コンサート, パーティ, 結婚式など)
- 情報コンテンツの蓄積
- 周辺環境, 庭園の整備
- 別館の活用
- 事務棟の活用(レストランなど)

京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」委員名簿

(五十音順 敬称略)

氏 名	職 名
うえむら あつし 上村 淳之	日本画家 京都市学校歴史博物館館長、松伯美術館館長
うちやま たけお 内山 武夫	美術評論家
おおたがき まこと 太田垣 實	美術評論家、元大阪成蹊大学教授
かじたに のぶこ 梶谷 宣子	染織美術研究家 メトロポリタン美術館終身名誉館員
かすや あきこ 加須屋 明子	京都市立芸術大学芸術学部准教授
かわしま けいこ 川嶋 啓子	市民公募委員
くらもり きょうこ 倉森 京子	NHK エデュケーショナル特集文化部専任部長
たかはし しんや 高橋 信也	森ビル株式会社顧問・森美術館顧問
たてはた あきら 建畠 哲	京都市立芸術大学学長 公益財団法人京都市芸術文化協会理事長
ぬのがき ゆたか 布垣 豊	京都中央信用金庫理事長 京都市美術館友の会会長
ふくもと ふく 福本 双紅	市民公募委員
ほそみ よしゆき 細見 良行	細見美術館館長
まつお めぐみ 松尾 恵	公益財団法人京都市芸術文化協会理事 財団法人京釜文化振興財団評議員
みの ゆたか 蓑 豊	兵庫県立美術館館長
もんない てるゆき 門内 輝行	元岡崎地域活性化ビジョン検討委員会委員長、京都岡崎魅力づくり推進協議会アドバイザー、京都大学大学院工学研究科教授
おく みさと 奥 美里	京都市文化市民局文化芸術担当局長
しおえ こうぞう 潮江 宏三	京都市美術館長

第3回京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」座席



《入口》

受付

京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」設置要綱

〔平成25年6月13日
文化芸術担当局長決定〕

（設置）

第1条 京都市美術館の将来構想の策定に向けた具体的な方策等について、必要な事項を検討するため、京都市美術館評議員会（以下「評議員会」という。）の下に京都市美術館評議員会「将来構想検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 検討委員会は、委員20名以内をもって構成する。

2 委員は、評議員会議長が適当と認める者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

（委員長及び副委員長）

第3条 検討委員会に委員長、副委員長を置く。

2 委員長は、評議員会議長を、副委員長は、京都市美術館長をもって充てる。

3 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（委員の任期）

第4条 委員の任期は委嘱の日から平成26年3月31日までとする。

（会議）

第5条 検討委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、会議への出席、意見の陳述、説明その他必要な協力を求めることができる。

（会議の公開）

第6条 会議は公開とする。ただし、委員長が必要と認める場合は、非公開とすることができる。

（報酬）

第7条 委員には、会議出席ごとに報酬を支払う。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、京都市美術館総務課において行う。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、決定の日から施行する。